



同時資料提供

山口県政記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政滝町クラブ

## お知らせ

# 一般国道188号 <sup>やない</sup>柳井バイパスが 平成27年3月26日に完成します

～住民生活の利便性向上に寄与～

### 【開通のお知らせ】

平成27年3月26日（木）午前6時に、一般国道188号「柳井バイパス」柳井市柳井地内の延長1.0km区間が4車線で完成することになりましたのでお知らせします。

### 【全線開通により期待される整備効果】

柳井バイパスの全線開通により、通過交通と生活交通が住み分けられたことで生活環境が改善され、新たなまちづくりが進んでいます。周辺住民の日常生活の利便性向上が期待されます。

#### ①渋滞の解消及び交通事故の削減に寄与。

- ・ 今回の完成により、さらにスムーズな交通の流れが確保され、安全性の向上が期待されます。

#### ②電線共同溝の整備により都市景観および防災機能が向上。

- ・ 電線共同溝の整備により、安全で快適な都市空間が形成されます。
- ・ 災害時に転倒し通行の妨げになる電柱や電線類を地中化することにより、防災機能も向上します。

### 問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

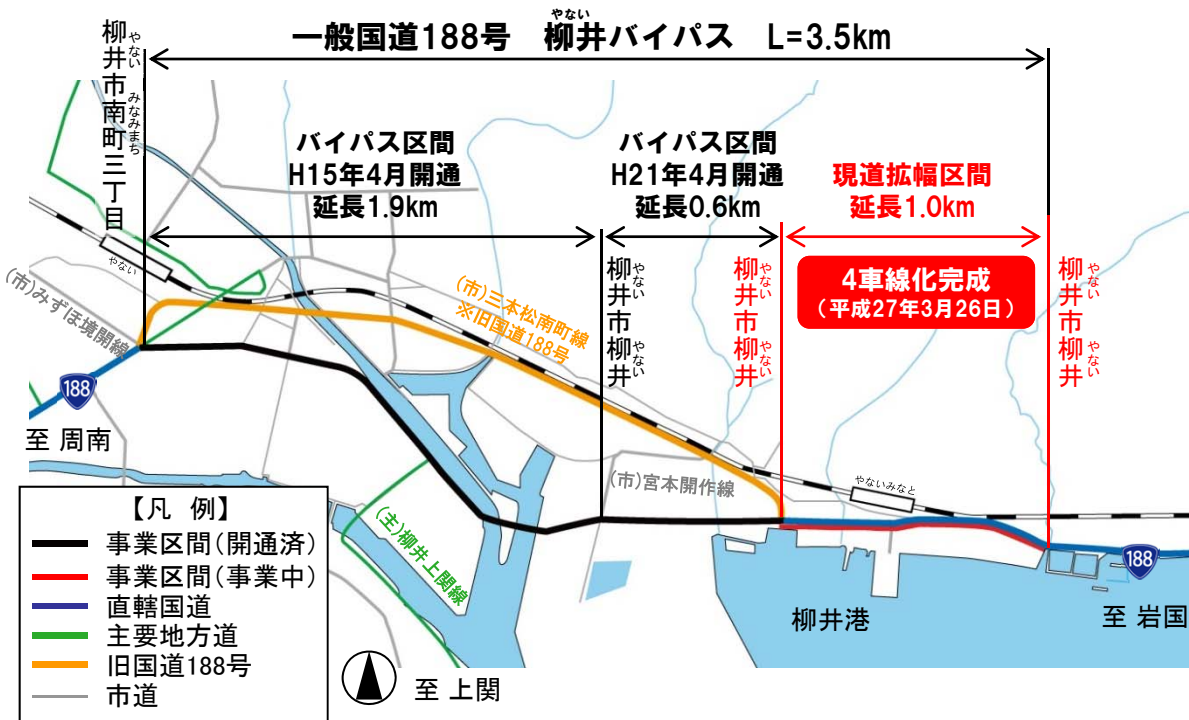
副所長 平山和弘（内線205）  
（担当）計画課長 藤原功（内線261）  
電話番号 (0835) 22-1819

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

# 事業概要

- ・一般国道188号柳井バイパスは、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的とした延長3.5kmの道路です。
- ・これまでにバイパス区間の2.5kmが開通しており、平成27年3月26日に現道拡幅区間の1.0kmが4車線で完成します。



## 計画概要

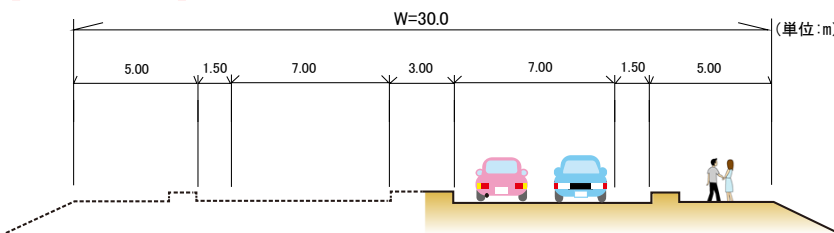
起 終 点	(起点) 柳井市柳井 (終点) 柳井市南町三丁目
計 画 延 長	3.5km
車 線 数	4車線

## 事業経緯

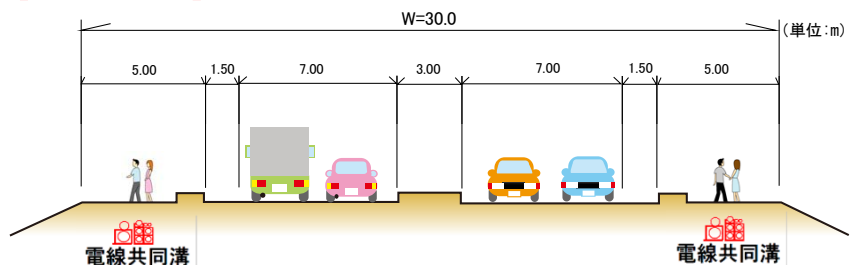
平成元年度	都市計画決定(平成元年4月) 事業着手
平成14年度	都市計画変更(平成14年12月)
平成15年度	柳井市南町三丁目～柳井市柳井 暫定2車線開通(延長1.9km)
平成21年度	柳井市柳井～柳井市柳井 暫定2車線開通(延長0.6km)

## 標準断面図

### 【バイパス区間】



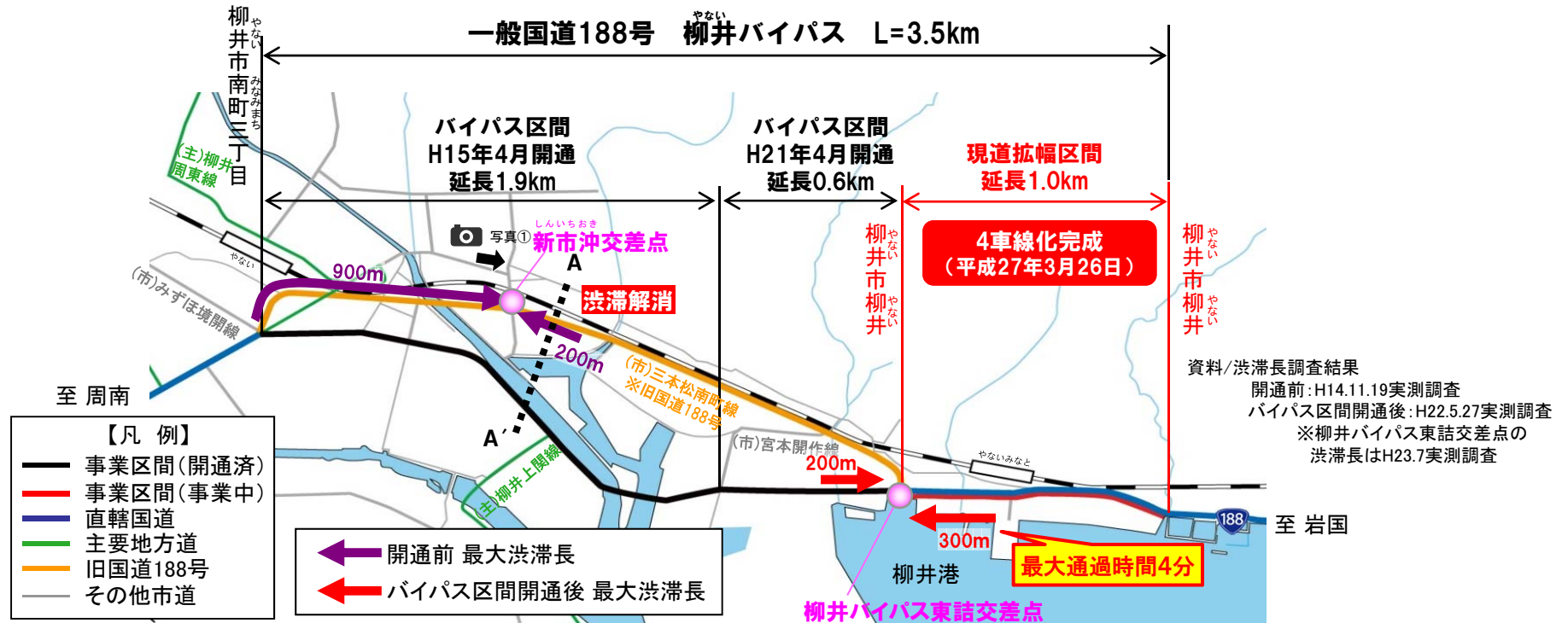
### 【現道拡幅区間】



※4車線化とともに、新たに歩道および電線共同溝を整備しています。

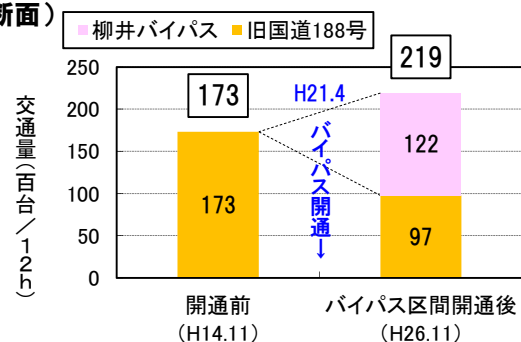
# 全線開通により柳井バイパス東詰交差点の渋滞の解消が期待されます

- これまでのバイパス区間の整備により旧国道188号の渋滞が解消しました。
- 残る「柳井バイパス東詰交差点」についても渋滞の解消が見込まれ、日常生活における利便性の向上が期待されます。



## ◆柳井バイパス及び旧国道188号の交通量の変化

(A-A' 断面)

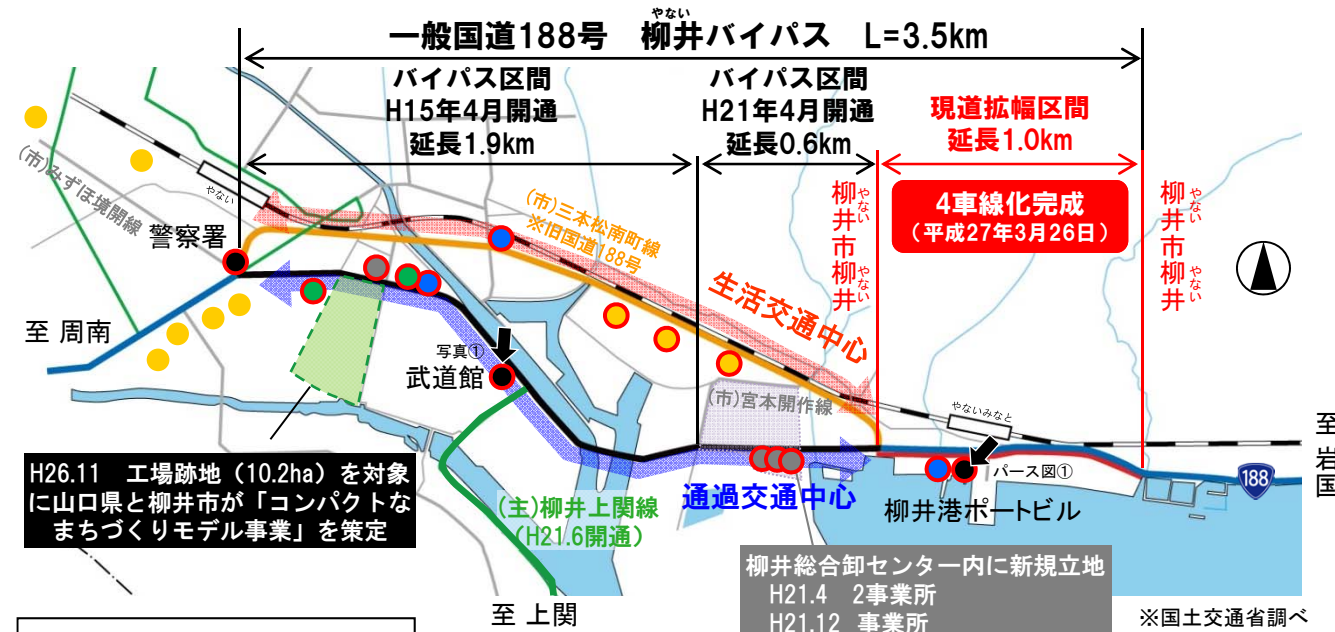


## 新市沖交差点における渋滞状況の変化【写真①】



# バイパスの整備に合わせて施設の新設等が進み、住民生活の利便性が向上します

- ・柳井バイパスおよび旧国道188号沿線では、通過交通と生活交通が住み分けられたことで生活環境が改善され、新たなまちづくり計画の策定や店舗、事業所、公共施設等の新設・建替等が進んでいます。
- ・旧大島町や周防大島町は柳井市との結びつきが強く、柳井バイパスの全線開通により利便性が向上します。



H26.11 工場跡地(10.2ha)を対象に山口県と柳井市が「コンパクトなまちづくりモデル事業」を策定

H26.12 市立武道館の新築移転



出典：柳井市HP

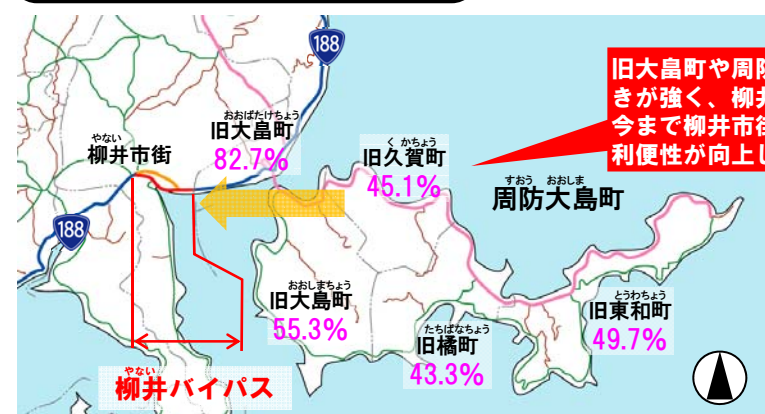
H26年度末 柳井港ポートビルの建替



※完成イメージ 出典：山口県資料

- 【凡例】
- 事業区間(開通済)
  - 事業区間(事業中)
  - 直轄国道
  - 主要地方道
  - 旧国道188号
  - 市道
  - 大型店舗
- バイパス開通後に新設、建替等が行われた事業所・施設
- 大型店舗
  - コンビニエンスストア
  - 医療機関
  - 公共施設
  - その他事業所

## ◆周辺エリアと柳井市の結びつき



旧大島町や周防大島町は柳井市との結びつきが強く、柳井バイパスの全線開通により、今まで柳井市街へ買物に行かれていた方の利便性が向上します。

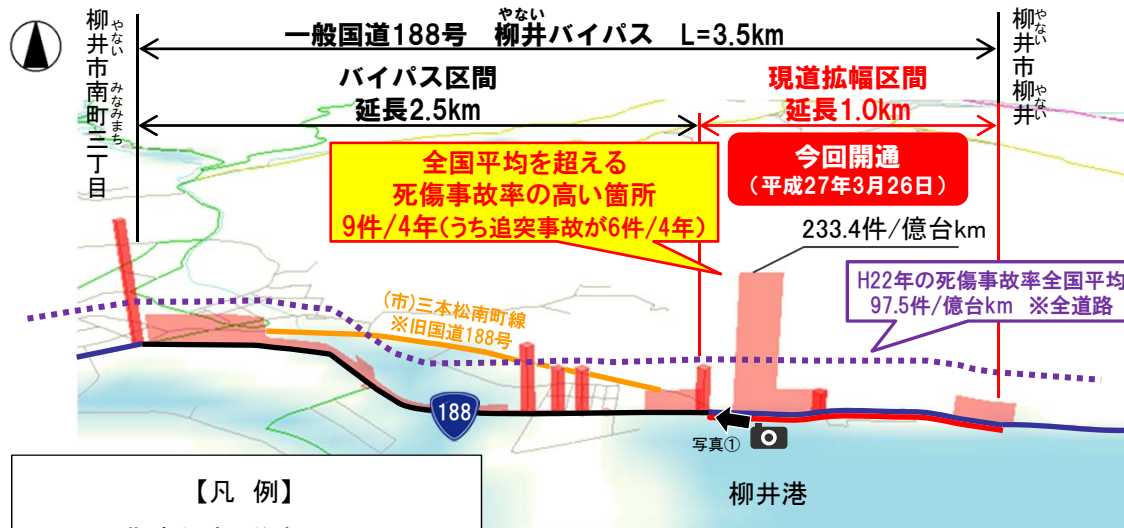
※図の数値は、購買率を示しています。購買率は、その地域の居住者が、特定の地域で買物した消費額の構成比を表したものです。  
※現柳井市は、旧柳井市と旧大島町が合併しているため、旧大島町の購買率は、現柳井市から旧大島町を除いた買物した消費額となっている。

資料/山口県買物動向調査

# 交通事故の多発している柳井港周辺の安全性が向上します

- ・バイパス区間の整備により旧国道188号の死傷事故は大幅に減少しました。現道拡幅区間では柳井港周辺では全国平均を大きく上回る水準で死傷事故が発生しています。
- ・また、現道拡幅区間の全区間に渡って歩道が未整備であったため、歩行者の通行に危険な状況でした。
- ・4車線化および歩道整備により、交通事故件数の削減や安全性の向上が期待されます。

## ◆国道188号の事故発生状況(死傷事故率)



### 【凡例】

- 死傷事故率(単路)
- 死傷事故率(交差点)
- ..... 平均死傷事故率(H22全国平均)

※図中の高さは死傷事故率を示す。  
 ※死傷事故率とは、走行台キロ(自動車の走行距離の総和)あたりの死傷事故発生件数を算出したものである。

### 【凡例】

- 事業区間(開通済)
- 事業区間(事業中)
- 直轄国道
- 主要地方道
- 旧国道188号
- その他市道

資料/交通事故統合データベース(H21-H24)

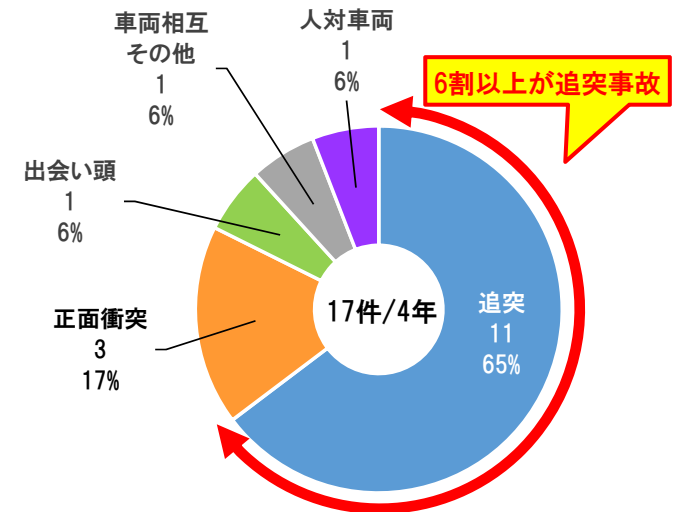
歩道が未整備のため、歩行者は路肩を利用して通行



(H20年度撮影)

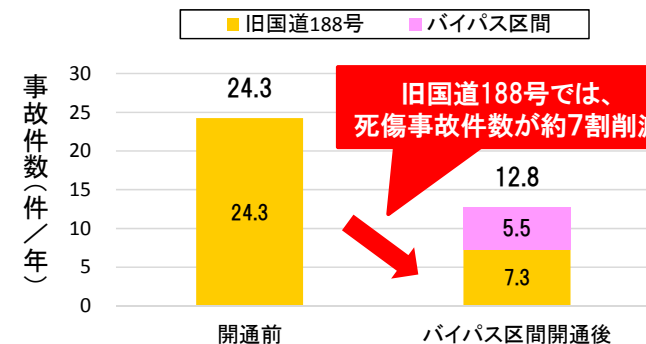
歩道整備前の現道拡幅区間の状況【写真①】

## ◆現道拡幅区間における類型別死傷事故件数



資料/交通事故統合データベース(H21-H24)

## ◆バイパス区間・旧国道188号における死傷事故件数の変化

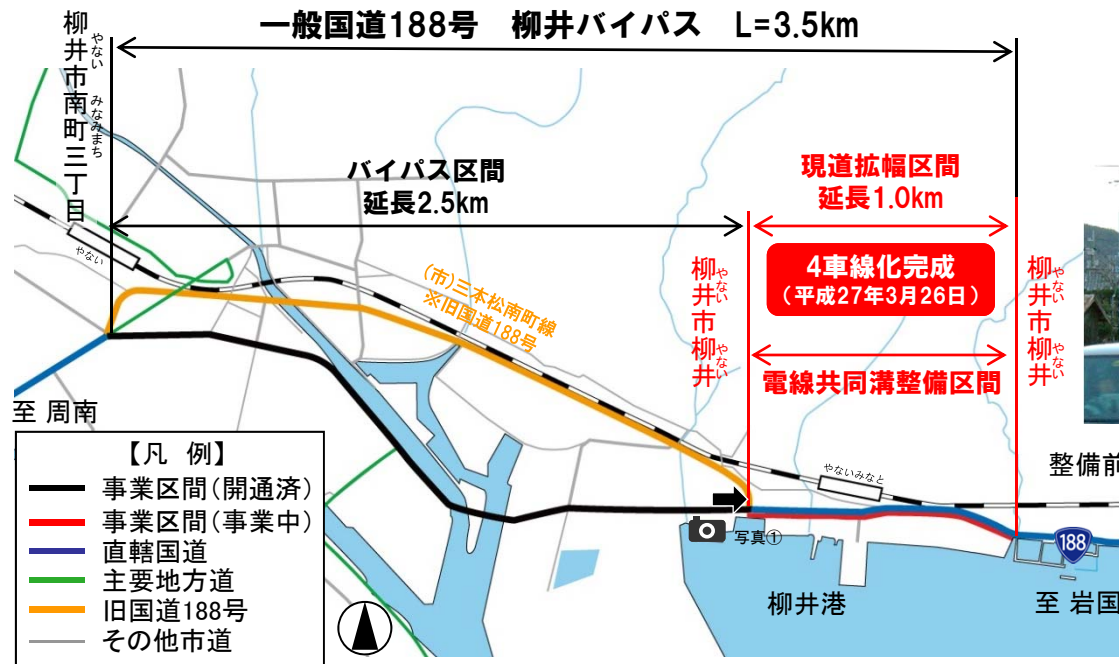


資料/交通事故統合データベース、山口県警データ  
 開通前:H11~H14年、バイパス区間開通後:H22~H25年

# 安全で快適な都市空間が形成され、都市景観および防災機能が向上します

- ・拡幅整備に併せた電線共同溝の整備により、安全で快適な都市空間が形成されます。
- ・国道188号は第一次緊急輸送道路(※)に指定されており、災害発生直後からの通行の確保が重要であり、また、災害時に転倒し通行の妨げになる電柱や電線類を地中化することにより、防災機能が向上します。

※県庁所在地、広域生活圏中心都市の市役所及び重要港湾、空港等を地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に連絡する道路



(H20年12月撮影)  
整備前の現道拡幅区間の状況【写真①】

災害時等に倒壊し、通行の障害となる恐れのある電柱・電線

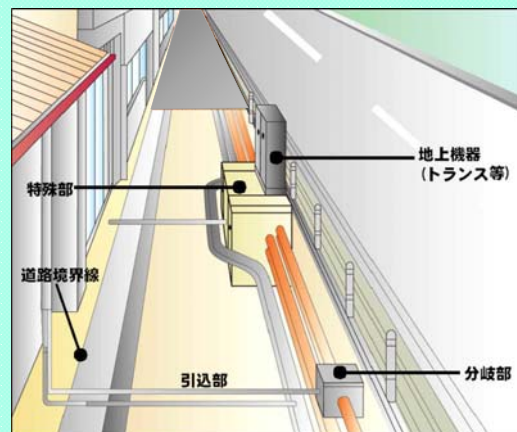


阪神大震災で倒壊した電柱

災害時などに倒壊し、通行の障害となる恐れのある電柱等が撤去されることで防災機能が向上

## 電線共同溝とは

道路の地下空間に電気・通信線等をまとめて収容するもので、高度情報化社会に対応した安全で快適な都市空間の形成を目的としています。



## 【電線共同溝の整備事例】国道9号 山口市小郡地区の状況



(H19年3月撮影)  
電線類が張り巡らされた以前の街並み

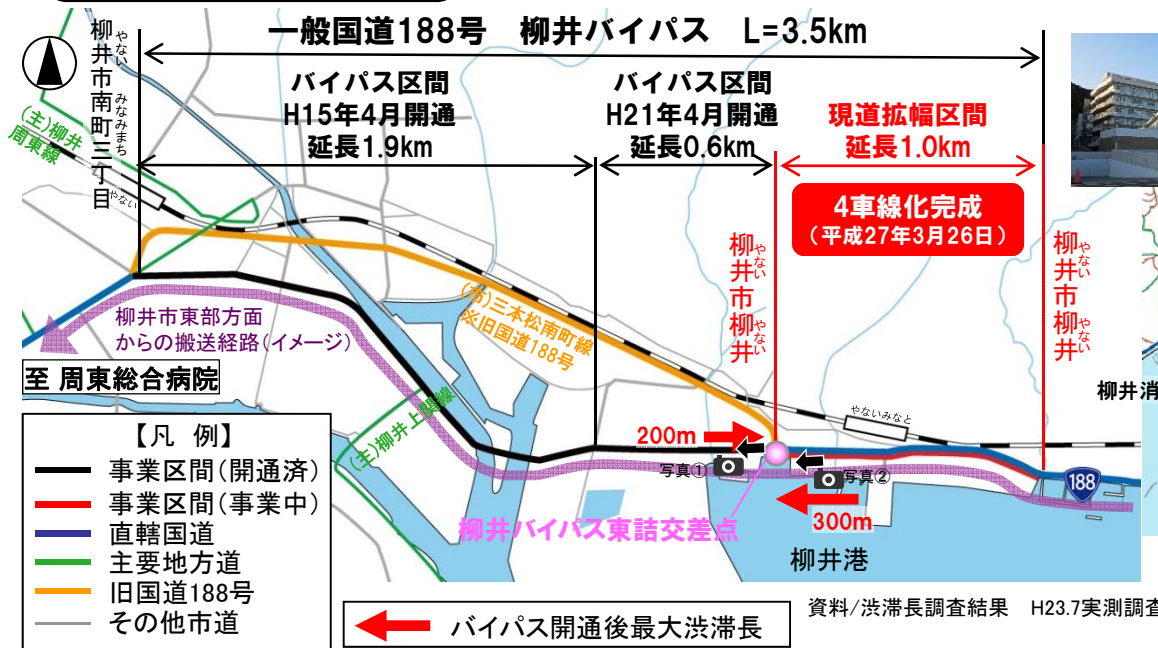


(H25年2月撮影)  
電線類の地中化により開放感のある現在の街並み

# より安全な救急救命活動が期待されます

- ・周防大島町や柳井市東部からの救急搬送のうち、年間約600人が国道188号を利用し、柳井市内の救急医療施設へ搬送されています。
- ・柳井バイパスの整備により、柳井バイパス東詰交差点周辺での渋滞が改善し、安全な救急搬送が期待されます。

## ◆国道188号の渋滞発生状況



## ◆柳井市東部方面からの搬送状況



## 柳井バイパス東詰交差点の渋滞状況



(H23年度撮影)

西側の状況【写真①】



(H23年度撮影)

東側の状況【写真②】

## ◆地域の声

- 柳井地区広域消防本部 警防救急課長
- ・バイパス区間の開通により、東方面の救急搬送時の経路変更がされ、搬送時間が短縮されました。
  - ・現道拡幅区間周辺では、朝・夕の渋滞時や、西行の右折待ちによる後続の渋滞時は、**救急搬送時の通り抜けに支障**が出ています。
  - ・柳井バイパスが4車線整備されることにより、搬送時間の短縮、患者負担の軽減が図られ、安全な救急搬送に期待ができます。



(H27.2ヒアリング調査)